

ふくしま共創のまちづくり計画

西 地 区

作成：西地区地域の個性を生かした
まちづくり計画策定懇談会
事務局：西支所内
電話：(024) 593-1001

地域ビジョン

「豊かな自然と共生し、活力のある、安心して楽しく暮らせるまち」

- (1) 荒川をはじめとする豊かな自然と共生するまち
- (2) 豊かな自然やスポーツ・観光・レクリエーション施設、歴史資源を活用した個性的で活力のあるまち
- (3) 若者の定住を促進し、家族が豊かで賑わいのあるまち
- (4) 高齢者と子どもたちのふれあいなど、人々が交流し、みんなが安心して楽しく暮らせるまち



四季折々の花が咲き誇る四季の里

地域の個性

【位置】

本市の南西部に位置し、東西方向に長く伸びた形状であり、荒井・佐倉の両地区からなる自然環境に恵まれた地区です。

【道路、河川】

国道115号やフルーツライン(主要地方道上名倉・飯坂・伊達線)などの主要幹線道路が整備されています。水質日本一、平成の名水百選の荒川が地区の中央を横断しています。

【公共施設】

公営住宅団地や陸上自衛隊福島駐屯地、東北農業研究センター福島研究拠点、福島県警察機動センター、福島県消防学校、農業総合センター畜産研究所、ふくしま自治研修センターなどの大規模施設が立地しています。

【産業】

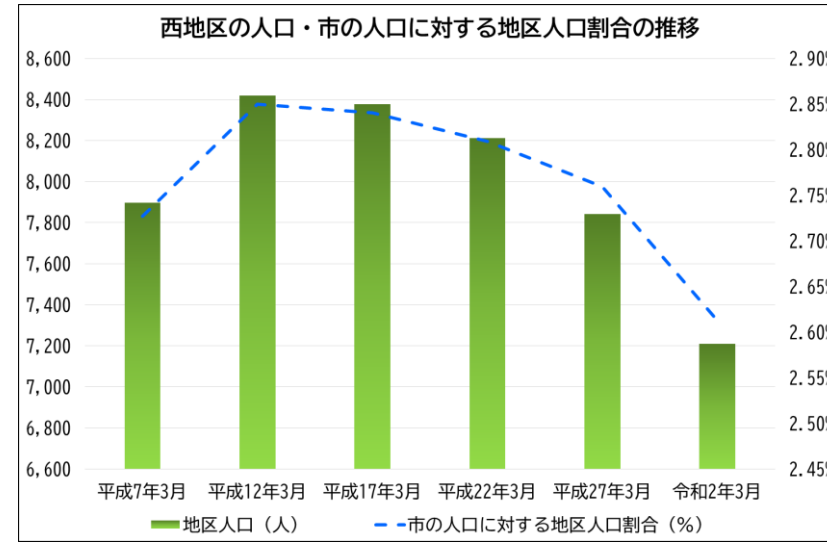
農業は水稻のほか果樹や花卉などの園芸作物の栽培が盛んであり、工業では佐倉西工業団地など市内最大級の工場出荷額を誇っています。また、流通や情報などの多様な企業や医療施設が立地し、産業分野の面でも調和の取れたまちづくりが進められています。

【観光・スポーツ施設】

荒川の周辺には、あづま総合運動公園、民家園や四季の里、水林自然林、アンナガーデンなどのスポーツ・観光・レクリエーション施設が集積しています。これらの施設は、映画やドラマのロケ地として活用されたり、花観光スポットとしても注目されています。また、あづま総合運動公園は東京2020オリンピック競技大会の会場にもなっています。

【名所旧跡】

義民・太郎右衛門霊堂、種まき桜の慈徳寺、八幡神社とその境内にある渡航記念碑、大竹地藏尊や地藏原金剛山、旧佐久間邸、和算家の碑、愛宕原遺跡、大平・後関遺跡に見られるような寺社仏閣や遺跡など、数多くの歴史資源が残されています。



項目	西地区	市全体
面積	37.06km ²	767.72km ²
人口(人)	7,247 (市全体の2.6%)	275,966
15歳未満	737 10.2%	31,659 11.5%
15~64歳	4,276 59.0%	161,424 58.5%
65歳以上	2,234 30.8%	82,883 30.0%
世帯数	3,266世帯	123,906世帯

地域の取り組みの実績

- (1)見守り隊 児童の登下校の安全確保のため子ども見守り隊が活動しています。
- (2)地区大運動会 荒井、佐倉両地区では地区を挙げて大運動会が開催されています。
- (3)あらかわ・ふるさとの川ウォーキング 四季の里・荒川堤防遊歩道・あづま運動公園をコースとするウォーキング大会が開催されています。
- (4)あづまの里「荒井」づくり地域協議会 あづまの里「荒井」元気にすっぺ!をキャッチフレーズに遊休農地などの地域資源の再活用など積極的な地域おこしとともに、都市との交流も図っています。
- (5)花いっぱい運動 町内会、各種団体を中心に花の植栽による景観整備を行っています。
- (6)地区文化祭、芸能発表会 日頃の練習や学習の成果を発表する場として開催され芸術文化の振興と地域交流の場としての役割を担っています。
- (7)地域資源保全協議会等 休耕地の解消・地域活性化・美化運動を目的とし活動を行っています。
- (8)西地区ふるさとの歴史再発見事業 西地区の歴史に学び先人の生活や文化に想いを馳せ伝統や功績を後世に伝承するために必要な事業を実施しています。また、これらの事業を通じ住民の愛郷心と連帯感を醸成します。
- (9)市民納涼盆踊り大会 西地区及び自衛隊との交流機会として協働意識の醸成・活性化とにぎわいのある地域づくりとして開催されています。西地区をはじめ域外からの来訪者も参加しやすい行事を目指します。
- (10)ふるさとの川荒川づくり協議会への参加 自然と人間が共存共栄できるふるさとの川を目指し活動する協議会に参加し、荒川の清掃活動などに取り組んでいます。



あづまの里「荒井」づくり地域協議会



西地区ふるさとの歴史再発見事業(旧廣瀬座)



市民納涼盆踊り大会

地域の強みとなる資源

(1) 民家園旧廣瀬座の再整備

芝居小屋としての興行機能を復元し、観光振興及び関係人口拡大を図る予定。

(2) 荒川の自然及び土木遺構

荒川は2010年から連続で国土交通省による「水質が最も良好な河川」に選ばれています。また、国登録有形文化財になっている地蔵原堰堤ほか14基の砂防堰堤、江戸時代からある霞堤などがあります。

(3) あづま総合運動公園や民家園及び四季の里や水林自然林

東京2020オリンピック競技大会の会場や映画・ドラマのロケ地となっています。

地域課題

- (1) 荒川堤防遊歩道など、川を含めた荒川沿川施設の利活用と日本一きれいな荒川を守る自然環境保護
- (2) 自然やスポーツ・観光・レクリエーション施設、歴史資源を活用したまちづくり
- (3) 自然環境保護をはじめ防犯など地域の安全対策と風水害や火山などの防災対策、地域のこどもたちを地域で守る青少年健全育成活動など地域コミュニティの連携の強化
- (4) 少子高齢化社会に対応し地域活動の維持と活性化につながる人材育成
- (5) 遊休農地や耕作放棄地の解消につながる貸借の推進などの農地利用対策
- (6) 域外からの定住化の推進を図るための住宅インフラ対策

重点的な取り組み

I 自然環境保全

【方針1】荒川などの自然環境を生かし、大切に作る地域をつくります。

(継続) 荒川の堰堤や霞堤などの選奨土木遺産を後世に保存・継承するとともに沿川の名所を生かしたウォーキング大会などのイベントを推進します。

(継続) 水質が最も良好な河川・荒川の自然環境保全に努めます。

II 地域資源の活用とにぎわい創出

【方針1】地域の魅力を発信し、二地域居住を含む関係人口の拡大と移住・定住を促進しにぎわいのあるまちづくりを推進します。

(継続) スポーツ・観光施設や水質日本一の荒川をはじめとした自然などの地域の魅力を積極的にPRし、観光スポットや特産物などのブランド化を図ります。

(新規) 地区内で開催される東京2020オリンピック競技大会のレガシーとなるよう、また、映画・ドラマのロケ地として活用されている施設などを資源として活かせる取り組みを進めます。

(継続) 遊休農地の利活用など、地域資源を生かした都市間交流や観光と連携した地域おこしを推進します。

(継続) 土湯温泉など周辺観光地との連携により回遊性、滞在性を高め地域振興を図ります。

【方針2】地域における交流機会の充実により共同意識の醸成と活性化、にぎわいのある地域をつくります。

(継続) 地区運動会や盆踊り、神社の祭礼などを盛り上げ、にぎわいのある元気な地域づくりを推進します。

(拡充) ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯や子どもを地域で見守るなど、みんなで助け合い、安心して生活できる地域づくりを進めます。

(継続) 地域文化振興のため、地区文化祭、芸能発表会などを推進します。

(継続) 高齢者が、ふれあいと安心して楽しめる、憩いの場づくりに努めます。

(継続) 経験豊富な団塊世代の人材活用により、子ども達が体験、学習する場づくりや地域団体、サークル、ボランティア活動などの担い手育成を推進します。

【方針3】地域資源や地域課題の情報を共有し地区内連携の取り組みを進めます。

(新規) 地区内外に対するPR・情報発信を推進します。

III きれいな地域づくりの推進

【方針1】美化運動を推進し、きれいな地域づくりを進めます。

(継続) ポイ捨て防止や河川、地区一斉清掃を実施します。

(継続) 花いっぱい運動を推進します。



地蔵原堰堤(登録有形文化財)を歩く
あらかわふるさとの川ウォーキング大会



民家園内の霞堤の除草作業



連続テレビ小説「エール」のオープニング画像でロケ地となった水林自然林
(左: 裕一の川 右: 音の木)